

# 間断かん水を行って根の活力を維持！ 穂もち注意報発表！早期発見・早期防除！ 草刈りの徹底で斑点米カメムシ類密度低減！

山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト本部

## ◎ 生育概況

7月20日現在、平坦部「はえぬき」の生育は、平年に比べ、草丈はやや長く、茎数はやや少なく、葉数は並み、葉色はやや濃くなっています。

農業総合研究センターの幼穂調査によると、出穂期は平年並みからやや早いと予想されま

す。  
平坦部「はえぬき」の生育（7月20日）

項目	調査値	平年値	平年比・差
草丈	71.4 cm	69.4 cm	103 やや長い
茎数	580 本/m <sup>2</sup>	609 本/m <sup>2</sup>	95 やや少ない
葉数	11.8 枚	11.6 枚	0.2 並み
葉色 (SPAD)	42.1	40.7	1.4 やや濃い

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

予想出穂期（7月20日現在、農業総合研究センター調べ）

品種名	場所	予想出穂期	平年出穂期※	平年差
はえぬき	山形市みのりが丘	8月4日	8月3日	+1日
	鶴岡市藤島	7月30日	8月1日	-2日
雪若丸	山形市みのりが丘	8月3日	8月3日	±0日
	鶴岡市藤島	7月30日	8月2日	-3日
つや姫	山形市みのりが丘	8月9日	8月9日	±0日
	鶴岡市藤島	8月8日	8月10日	-2日

※過去7か年（H28～R4）の平均値

## ◎当面の技術対策

7月20日発表の1か月予報（7月22日～8月21日）では、平年に比べ、気温は高く、降水量、日照時間はほぼ平年並と予想されています。

気温の高い状態が続く見込みであることから、出穂が早まる可能性があります。高品質でおいしい米を生産するために、生育状況を観察し、気象の変動に十分注意しながら、きめ細かな栽培管理を行いましょう。

### （1）きめ細かな水管理の徹底 ～間断かん水で根の活力維持、出穂前後は花水～

出穂前までは間断かん水を行って土壌を酸化的に保ち、根の活力を維持します。

また、出穂・開花期は、水を最も必要とする「花水」の時期となります。出穂直前から穂揃期までは2～5cmの水深を保ち、穂揃期後は間断かん水や飽水管理に移行します。

出穂後6～10日頃の高温が最も胴割粒の発生に影響します。高温が続く場合は、用水の効率的な利用に努めつつ、冷たい水との入れ替えで水温・地温が低下するように管理します。

フェーン現象の発生が予想される場合は湛水し、稲体を保護します。

(2) いもち病対策 ～早期に圃場を見回って、葉いもちが確認されたらすぐ防除～

7月20日に病害虫防除所から穂いもちの注意報が発表されました。県内全域で広く葉いもちの発生が確認されている状況です。葉いもちの発生・拡大は、穂いもちの多発につながり、収量・品質に大きな影響を及ぼします。早急に圃場を見回り、葉いもちの発生が見られる圃場では、直ちに治療効果のある薬剤で防除を行きましょう。

出穂直後の穂は、最もいもち病に感染しやすいことから、穂いもちの薬剤防除は、穂孕後期と穂揃期の2回防除を基本とします。防除時期に雨の日が続いた場合は、雨の合間を見て防除します。

(3) 斑点米カメムシ類対策 ～地域で時期を合わせて防除を～

斑点米カメムシ類の発生が多くなっています。斑点米カメムシ類の薬剤防除は、出穂状況をよく確認し、穂揃期及び穂揃期7～10日後の2回を基本とし、地域で時期を合わせて一斉に防除すると効果的です。

出穂期前後にやむを得ず草刈りを行う場合は、水田の薬剤防除直前に実施します。

## つや姫 の生育と技術対策

7月20日現在の「つや姫」の生育は、草丈は平年に比べてやや長く、茎数、葉数、葉色は平年並みとなっています。出穂期は、農業総合研究センター（山形市みのりが丘）では8月9日頃（平年8月9日）、水田農業研究所（鶴岡市藤島）では8月8日頃（平年8月10日）と予想され、平年並み～やや早いと見込まれます。

食味、品質を高めるポイントは、きめ細かな水管理です。圃場に水を溜めっぱなしにしたり、差し水管理では根腐れを起こします。出穂前までの水管理は、異常低温、異常高温時以外は間断かん水を基本とし、根の活力を維持します。

畦畔や排水口の点検・補修、作溝の手直し等を行い、今後も適正な水管理が行えるようにしましょう。

「つや姫」の生育（7月20日）

項目	調査値	平年値	平年比・差
草丈	72.9 cm	69.8 cm	104 やや長い
茎数	529 本/m <sup>2</sup>	526 本/m <sup>2</sup>	101 並み
葉数	11.4 枚	11.4 枚	0.0 並み
葉色 (SPAD)	39.1	38.5	0.6 並み

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

**農作業事故と熱中症に十分注意してください！**

休憩をまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！

**農薬はラベルをよく読んで使用しましょう！**

農薬危害防止運動実施中